

- ◆ 環境省、JICA、横浜市、国連環境計画(UNEP)、国際連合人間居住計画(UN-HABITAT)は、TICAD8のパートナー事業として「アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)第3回全体会合」を7月25日～29日にオンラインで開催。
- ◆ 会合には48ヶ国、延べ566名が参加。我が国からは、オープニングセッションで山口前大臣が挨拶。
- ◆ 本会合議論の成果文書として、最終日にTICAD9までの今後3年間の活動方向性を示す「チュニス行動指針」を採択。

プログラム概要

- 1日目 開会、基調講演、過去3年間の進捗の共有
- 2日目 ○アフリカ廃棄物管理の課題へのACCPのアプローチ
○オープンDumpから適正管理へ
- 3日目 ○知識の共有・能力開発 パネル討議(知識のギャップ)
- 4日目 ○日本とアフリカの廃棄物イノベーション
○パネル討議(きれいな街に必要なソリューション)
- 5日目 ACCP準会員の紹介 チュニス行動指針の採択 閉会

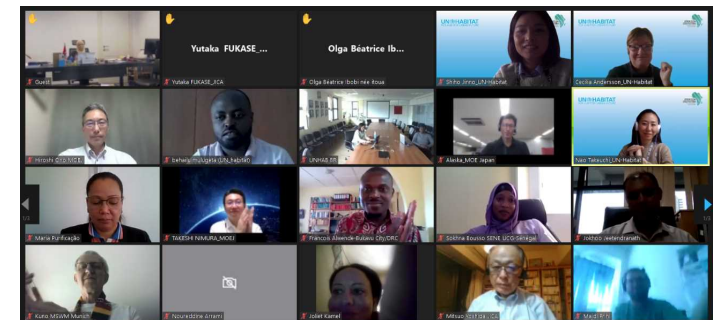
チュニス行動指針 要旨

ACCP第2回全体会合(2019年 横浜開催)で採択した「横浜行動指針」の更なる推進に加え、以下の活動を展開する:

- ・脱炭素移行に向けた、最終処分場の適正管理「福岡方式」の普及
- ・プラスチック廃棄物・医療系廃棄物・E-wasteの削減、適正処理や資源循環の推進



山口前大臣ビデオメッセージ



閉幕時の全体写真